

しゃくなげ



DENSOKU
No. 489号

発行日 2021年1月15日
発行 株式会社でんそく

公営企業管理者賞受賞

令和2年12月23日、令和2年度企業局優良工事表彰において、富山県公営企業管理者 山本 修様より賞状を頂きました。これは令和元年度に当社が施工しました和田川浄水場受変電設備更新工事の成績が優秀であったことによるものです。



2021年(令和3年)新年を迎えて

代表取締役社長 櫻井 賤男

新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍で悩まされた一年でしたが、一日も早く終息する事を願っています。電力業界では、電力システム改革の発送電分離がスタートしましたが、全国の原子力発電所の再稼働が遅れていて、今は3基のみ稼働しています。この様な状況下で新年を迎える事が出来る事に対して、お客様、納入業者様、そして、社員の皆様に厚く御礼申し上げます。新年に入って電力会社トップメッセージでは、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までの温室効果ガスの排出をゼロにすべく、努力したいとの記事がありました。これを聞いて当社として主力としている水力発電事業が今後増々重要視されることを確認しました。又 IoT 関連での新製品を昨年暮れに客先様で採用していただき、リモートワーク推進の一助になればと考えています。この脱炭素社会の実現、新型コロナに打ち克つていく為には何が必要か、昨年12月6日小惑星探査機「はやぶさ2」を無事帰還されたプロジェクトマネージャー津田雄一氏の言葉

を紹介。「39才の若さでプロジェクトマネージャーとして600人のプロ集団を束ねるために心掛けた事」①組織をまとめていく上で自分の専門分野以外の勉強をした。②その知識を踏まえた上でのコミュニケーションが必要だと感じた。自分のマネジメントは何かを考えた時、600人のチーム全体が一人の人間の様に同じ意思を持っていて、だけど頭脳は一人の人間ではなく、600人の頭脳があるわけだから、それが有機的に結びつく事が出来るので、いろんな難題に取り組める。そういうチームにしたいと思った。この言葉は現在でんそくの置かれた状況を打破するための最高の指針ではないかと思えます。その基本になるのは組織です。トップダウン(ビジョンを掲げる)とボトムアップ(社員の自律)が両立する組織で、今一度上司と部下、社員同志のコミュニケーションをとってまいります。

年度末が2.5ヵ月後にやって来ます。製造部、工事部の両部門の協力で売上げ目標(21億円)達成に向けて頑張らしましょう。



新しい時代に向かって進もう

専務取締役 水上 博

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染が拡大し続けている中、日々患者に寄り添い、その治療に尽力されている医療従事者の皆様に敬意を表します。私達も、3密を避けマスクの着用・手洗い・うがいの励行により感染防止に努めることを誓います。コロナ禍の中でも、重要な社会インフラである電力設備の維持保全のため、例年通り工事及びメンテナンスを行う必要があります。近年、県外の水力発電所の工事が増えています。遠隔地の現場では感染のリスクは高まります。出張先においても、感染防止対策を徹底し、健康管理には特別に留意していただきますようお願いいたします。また、コロナ収束が見通せない中、テレワーク等の普及に伴い、システム開発部で取り組んでいる遠隔監視システムの需要も加速されると思われます。カメラ・センサー等を発電所の現場に設置し、お客様の事業所にて設備の運転状況

を常時監視できるようにすることを求められています。ビジネスのデジタル化についても、製造部と一体となり営業活動を進め、工事においては、協力会社様と綿密に連携をとりながら、幅広い職種の工事に対応できるよう努めます。お客様の要望にワンストップでお応えできるような体制作りも今後の課題です。目標実現の速度は牛歩のように遅くとも、堅実に実行してゆく所存です。私は、でんそくフィロソフィである“ビジョンは必ず実現する”という文言に共感します。社員の皆様のビジョンが集約されて、その通り実現されることを信じます。仕事上の問題は多く有りますが、助け合い、励まし合ってコロナ禍及び様々な困難を乗り越えてゆきましょう。工事及び製造を通して、お客様に満足していただける企業をめざして、社員一同頑張ります。結果として5年後に希望する成果が検証できれば幸いです。



年納め会



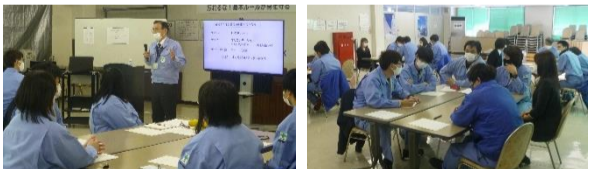
令和2年12月28日15時半から本社3階にて、年納め会が開催されました。今回はコロナ対策ということで各職場の代表者の方へ出席いただいたの開催となりました。品質月間標語の入賞者報奨の後、社長の挨拶がありました。「現在売り上げとしてようやく18億に近い数字になり、有難いと思っております。昨年は工場で品質問題が色々ありましたが、今年は工場で品質問題はなく、本当にありがとうございました。工事部の方ですが今年は1件、7月28日黒部川第三発電所の堅坑でケーブル損傷の事故がありました。事故災害は零でなければなりません。今年は4月からお客様はDx(デジタルトランスフォーメーション)のD(デジタル)のことばかり言われます。でんそくでも新製品にトライしていますが、先月ようやく庄川の方で「D」にあたるICタグを使ったいろいろな物品管理システムが庄川で採用されました。本当に有難いです。これを一つの景気につけてデジタルからDxにつなげていけば工事以外のものづくりもしっかりできるのではと思います。でんそくは技術の頭脳集団だと思っています。ソフトを含めて付加価値をどこにつけていくか、でんそくの特徴は何かを皆さん一人ひとりが経営者意識を持って考えるような工場、工事現場にしたいと思っています。そうすればおのずと付加価値・利益はついてくると思います。最後になりますが、会社でも現場、工場内でコロナが一人でも出たらアウトだと思います。出来るだけ人込みを避け、マスクやソーシャルディスタンス、3密を避ける等を守って生活していただければと思います。それがお客様への恩返しの一つになります。ぜひ今年度残り3ヶ月、社員全員一丸となって方向を一つにしていいただければと思います。よろしくお祈りいたします。1年間ありがとうございました。」

その後は水上専務の万歳三唱で締めくくられ、年納め会はお開きとなりました。その後各部署で毎年恒例お楽しみ抽選会が行われました。今年一番の目玉商品、おせちは製造部の柳瀬さん、工事部の大角さん、社長賞は製造部の佐藤さん、専務賞は工事部の鶴野さん、常務賞は製造部の明堂さん、総務部の鳥居さん、今年特別に作りました役員賞は工事部の田守さんがゲットされました。

フィロソフィ研修会開催!!

令和2年度フィロソフィ研修会が令和3年1月7日、8日の2回に分けて開催されました。

今回は若手社員を対象に『仕事を好きになる』大切さをフィロソフィリーダーの石丸さん、永田さんに話していただきグループ討議を実施しました。二人の共通点は仕事に興味を持つこと。自分の考え心の持ち方が大切である。



~2021年のラッキーカラー~ Dr.コバさんによると... 黄色、ベージュ、ラベンダー!

- ◆ 黄色…金運アップの色であることに加え、明るい笑顔と健康、やる気、新しい変化をもたらします。
- ◆ ベージュ…安心や信頼を育てる家庭や財産を築き、新しい人間関係や有意義な人脈をもたらします。
- ◆ ラベンダー…コロナ感染症をはじめとする病気など、あらゆる厄を払い落とし、幸運を引き寄せます。

2021年もコロナの影響が続きそうですが、各々の幸せの形を見つけたいですね。風水をヒントにして、よりよい1年を目指しましょう!

~編集後記~

あけましておめでとうございます。本年も社内誌をよろしくお祈りいたします!

今年も始まりましたが、昨年同様コロナの影響はなかなか収まりませんね…。それに加えて富山では大雪!富山地方気象台によると100cmを超える積雪は1986年以来、35年ぶりになるそうで…私は車を運転してから初めての経験です。運転しているとタイヤがはまってしまった車もちらほら。しかし周りの方々の助け合いが素晴らしいです…。車を押しあげたり、タイヤを掘り出してあげたり、近所の方の雪かきの手伝いなどなど言っていたらきりがなくらいに…寒い日が続きますが温かい話もたくさん見聞きしました。もうしばらく雪道は続くと思います。早起きなどで時間の余裕、同時に心の余裕を持つての行動を心掛けましょう! (Y.M)

祝 成人おめでとう!!

工事部 T.A

このたびは無事成人を迎えることを嬉しく思います。これまで支えてくださった多くの方にはとても感謝しています。

社会人として自覚ある行動を心掛け、良い大人の一員となれるように努めていきたいと思っています。これからもご指導のほどよろしくお願いいたします。

工事部 R.T

無事に成人を迎えることができました。まだまだ社会人としても未熟者ですが、今できる仕事をしっかり覚え、自分の物にしていきたいです。

これからはより一層の責任感を持って作業に取り組みたいと思います。

